

平成27年2月17日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成26年度 第2回三部会合同部会

◆ 2月17日(火)、美しい多摩川フォーラムの平成26年 第2回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成27年2月17日(火) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：会長、副会長、部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 経過報告 ※はビデオ放映
 - (1) 第7回・多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/6)【資料1】※
 - (2) 公益財団法人とうきゅう環境財団・「助成調査・試験研究の概要に関する中間報告書」及び「2015年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩の物語」関係)助成金交付申請書提出」(1/14)【資料2】
 - (3) 平成27年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)(1/29 運営委員会)【資料3】
 - (4) 第7回・美しい多摩川フォトコンテスト審査結果(2/2)【入選作品を展示】
 - (5) 青梅市下長淵地区にて桜の植樹式開催(2/8)【資料4】
 - (6) 公益財団法人とうきゅう環境財団・「2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩川一斉水質調査」関係)進捗報告について【資料回覧】
 - (7) 「多摩の物語」の語り会(3/4 羽村市生涯学習センターゆとろぎ・小ホール～語り部・平野啓子副会長&お弟子さんによる語り)【資料5】
 - (8) 第7回・美しい多摩川フォトコンテスト作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ画展(3/10～15:青梅市立美術館)【資料6】
 - (9) 第6回“美しき桜心の物語”の語り会(3/22 府中市・大國魂神社～語り部・平野啓子副会長)【資料7】
 - (10) 第4回・桜守学校開催(3/27)【資料8】

～平成27年度の予定～

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

①4/2：羽村取水堰と玉川上水～福生多摩川堤防、美しい多摩川フォーラム、羽村市、リビング多摩、大谷桜守

②4/7：高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園、美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守

(2) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料9】

①5/1：第4回“美しき桜心の物語”の語り会（八十八番・弘前公園、弘前文化センター・ホール、語り部・平野啓子副会長）

4. 意見交換

(1) 平成27年度事業計画骨子・同予算について【資料3】

(2) 「御岳・冬物語」の実施内容について

(3) 一般会員 藤井政男様より提言「多摩の近未来を考える」【資料10】

5. 部会長総括

6. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成26年度第2回三部会合同部会を始めさせて頂きたいと思っております。始めに「多摩川の歌」の普及策の一環として、合唱バージョンをお聞き下さい。次に、本日初めて部会にご出席される方をご紹介します。

（紫芳会事務局（立川高校同窓会） 副理事長 藤野 忠男 様）

藤野と申します。私は高校に入った月に、高校の屋上から落ちました。普通なら命がなかったと思います。今でも立川高校の7不思議のひとつとなっています。立川高校の校歌の中に多摩川が出て来ますが、ただ歌うだけではなく、多摩地域に貢献していきたいと思い、紫芳会として何かできることがあれば協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

（みたけレースラフティングクラブ 柴田 大吾 様）

柴田と申します。多摩川上流の御岳溪谷でラフティングクラブを運営しております。今までは、多摩川のアウトドアと言うと、カヌーやカヤックが中心でしたが、最近はラフティングも盛んになり、シーズン中の4月～11月だけで約3万人の観光客の方が訪れるようになりました。これからは、観光客だけではなく、地元の子どもたちに、自然の中で行えるスポーツを楽しんでもらえるよう挑戦していきたいと思っております。

で、よろしくお願いいたします。

(株) J T B コーポレートセールス法人西東京支店 営業第二課長 加藤 太 様)

加藤と申します。J T B では、旅行会社の立場から、全社を挙げて地域交流について取り組んでおり、このフォーラムにも前任者の頃から参加させていただいております。旅行会社の立場と申し上げましたが、色々なことができると考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2. 部会長挨拶

(細野部会長)

皆さま、年度末のお忙しい中、ご参加いただき、有り難うございます。平成26年度・第2回三部会合同部会でございます。今日は、様々なご意見を皆様から伺い、平成27年度の事業展開に活かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(平野部会長)

皆さま、お忙しい中をお集まりいただき、誠に有り難うございます。今朝は雪が降っておりましたが、ここ何年か、気象状況等がおかしくなっています。しかし、我々がこうやって100年かけて多摩川流域の活性化や自然環境の保護等に取り組んでいけば、やがてこの気象状況も昔に戻せるのではないかと夢見てしまいます。私は教育文化が担当なので、教育文化を通して多摩川について力を注いでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。今日お集まりの皆様は、具体的なものを形にしていく力がおありの方たちばかりだと思いますので、忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(渡邊部会長)

私は環境担当ですので、多摩川の水質等に関心を持っております。特に最近、下水道が完備され、多摩川の水がきれいになってきています。去年は、丸子橋付近でアユの遡上が500万尾確認できたそうで、とても楽しい話題だと思います。平成15年11月に制定された、水生生物の保全に関わる環境基準について、最近いくつか項目が追加されました。平成24年8月22日には、「ノニルフェノール」(環境ホルモン関係)が追加され、拝島橋より上流には厳しい基準、下流には緩い基準となっています。もうひとつは、「直鎖アルキルベンゼンスルホン酸」という洗剤のようなものですが、平成25年に追加され、より多摩川の水をきれいにし、生物の棲みやすい環境にしていこうという基準です。今後が期待されます。

3. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。12月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、その中から特に(1)番の活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(1) 第7回・多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/6)【資料1】※

- ・【資料1】をご覧ください。第7回目となる「多摩川子ども環境シンポジウム」が、昨年12月6日(土)に、昭島市のフォレスト・イン昭和館において、総勢171名の発表関係者・一般来場者が参加し、開催されました。「多摩川のここが大好き！」というテーマで、多摩川流域の小中学生による発表が行われ、今年も大変充実した内容となりました。今回は久しぶりに篠塚名誉会長にご出席をいただき、冒頭の開会のご挨拶を頂戴いたしました。なお、発表内容については、「みんなの発表誌」にまとめ、来月上旬に発表者や教育関係者ほか関係団体の皆さんに配布する予定です。

(2) 公益財団法人とうきゅう環境財団・「助成調査・試験研究の概要に関する中間報告書」及び「2015年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩の物語」関係)助成金交付申請書提出」(1/14)【資料2】

- ・【資料2】をご覧ください。今年度の調査研究活動は、計画どおり順調に進捗しています。現在は、3月4日に羽村市で開催する「多摩の物語」の語り会に向け、準備を進めています。また、本助成金の2年目に当たる2015年度は、多摩川流域の各地に伝わる民話の掘り起しのため、実地調査した内容を「多摩の物語」として小冊子にまとめる計画となっております。平野部会長、補足説明等ございましたらお願いします。

(平野副会長)

事務局から説明があった通りですが、順調に進んでおります。「多摩の物語」の最初の2年間は、農林水産省の交付金で調査・制作されましたが、その際は多摩川の上流部のみだったので、今後、中・下流部について、どのように進めたら良いだろうと思案していたところ、とうきゅう環境財団さんから調査費をいただくことができ、調査・制作を継続できることとなりました。この場をお借りして、とうきゅう環境財団

さんに御礼を申し上げます。

今回も、いくつか面白い話がありました。そもそも「多摩の物語」は、既に地域で民話を語っている方がいらっしゃるのです、その持ち分は大事にし、私たちは、「外から訪ねて足を踏み入れたら、こんなに面白い話や食べ物、歴史、文化に出会った。その繋がりはどうなっているのか。」というようなことを、ひとつのストーリーにしてまとめたものです。これを、多くの方々に伝えることによって、他の人に「この土地に行ってみたい」と感じてもらえる、いざないになればと思っています。

前回は食べ物を中心にまとめましたが、今回は、災害と向き合う話、生死に関わる話等を取り上げています。お話の中に、うなぎを食べない地区が紹介されています。これは、昔、大きな災害が起こった時、日野の川べりで、うなぎがビックリして堤防の穴に潜ってしまい、そのお陰で決壊を免れ、以後その地区では「うなぎ様」としてうなぎを食べなくなり、現在でもその風習が残っています。実際、日野にはうなぎ屋さん2軒しかありません。本日は、語り部のひとりの川井さんが来てくれていますが、彼女がリーダーとなり、他の語り部をまとめています。私自身の語りは、羽村のお話を中心です。かつて、台風で狛江市の多摩川が大決壊し、ドラマの題材にもなりましたが、それと同じ頃、羽村でも堤防の決壊を防いだというお話があります。決壊を防いだリーダー・井上徳太郎さんが、後に羽村市の初代市長になりました。詳しくは当日の語りで披露しますが、決壊を防ぐのに用いられたのは、桜の木だったのです。その時、その桜の木が植わっていなかったら、決壊は防げなかっただろうとのことでした。この話を、直接井上さんご本人に取材しましたし、現在の並木市長にも取材しております。また、かつて多摩川に桜を植える運動を起こした人は、神奈川の県知事さんだったのです。そのご子孫にも話を伺いました。なぜ多摩川に桜を植えたのかも、私たちの生活に深く関わりのある内容です。他にも、歴史好きの方が聞いたら面白い話が沢山ありますので、ぜひお越しください。

(3) 平成27年度事業計画骨子・同予算（事務方素案）(1/29 運営委員会)【資料3】

- ・【資料3】をご覧ください。1月29日の運営委員会において、第1号議案：平成27年度事業計画骨子・同予算（事務方素案）が承認されました。後ほどの意見交換において、ご説明させていただきます。

(4) 第7回・美しい多摩川フォトコンテスト審査結果(2/2)【入選作品を展示】

- ・今回の作品応募点数は、「多摩川の風景・人々部門」が146点、「多摩川夢の桜街道部門」が90点で、合計236点の応募があり、昨年に比べ44点ほど応募点数が減少しました。審査結果でございますが、「多摩川の風景・人々部門」、「多摩川夢の桜街道部門」の各部門において、最優秀賞が1点、優秀賞が1点、入賞が2点選ばれました。また、佳作が「多摩川の風景・人々部門」より15点、「多

摩川夢の桜街道部門」より5点、新たに設けられたファミリー賞、キッズ賞各1点が選ばれました。この審査結果は、美しい多摩川フォーラムのホームページに公開しておりますが、本日は上位入賞者の作品を持参し、サイドのテーブルの上に並べておりますので、後ほどどうぞご覧ください。

(5) 青梅市下長淵地区にて桜の植樹式開催 (2/8) 【資料4】

- ・【資料4】をご覧ください。去る2月8日に植樹式を開催しました。本件につきまして、青梅市計画部計画調整担当主幹の福泉様、緑の大地会専務理事・事務局長の十河様よりご説明をお願いします。

(青梅市 計画部計画調整担当主幹 福泉 様)

桜の植樹については、平成26年度の事業として急遽ご承認いただき、2月8日に地元自治体、青梅市、多摩川フォーラムの3団体で連携して植樹を実施いたしました。当日は、森田副会長をはじめ、事務局にもご参加いただき、総勢100名で開催しました。青梅第二小学校や友田小学校からも、児童が10名ずつ参加しました。緑の大地会様の事前の準備や植樹指導などのご協力もいただきました。今後、子どもたちが桜の生育を楽しみながら見守ってくれると感じております。大変良い桜の植樹会を催すことができたと思っています。有り難うございました。

(緑の大地会 専務理事事務局長 十河 様)

今、青梅市さんからご報告いただいた通りですが、桜の木につきまして、お話をさせていただきます。植えた木は、目通りが10センチ、丈が約3メートルのソメイヨシノです。ソメイヨシノは生育が早いので、あと5年すれば花が咲くと思います。小さい子どもが、身の丈もあるような大きいスコップで、ニコニコしながら一生懸命土を掘ってくれたり、地元のおじいさんも楽しそうに植えてくれたりしていました。

今日聞いた話ですが、熱海には、カンヒザクラとヤマザクラの交配種である熱海ザクラがあるのですが、この桜が、熱海の梅林沿いに植えられ、今がちょうど満開なのだそうです。青梅も、プラムポックスウィルスで梅の木が伐採されてしまいましたが、ようやく桜の木を植えることが可能になったので、来年からは吉野梅郷の復活にむけて、一杯植えていきたいと思います。

(6) 公益財団法人とうきゅう環境財団・「2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究（「多摩川一斉水質調査」関係）進捗報告について【資料回覧】

- ・本助成金は、今年度が調査研究活動の最終2年目に当たります。進捗状況につきましては、渡邊部会長よりご説明をお願いします。

(渡邊部会長)

2013年度と2014年度に、とうきゅう環境財団から、「市民や子どもたちによる多摩川流域の一斉水質調査についての新たな展開」というテーマについての助成金をいただきました。多摩川上流から下流までの75地点について水質調査を行います。従来のCODだけではなく、電気伝導率や硝酸態窒素、リン酸態リンを含めて測定を行い、その結果を3月末にとうきゅう環境財団へ報告する予定です。その中の一部として、多くの方が簡単に水質調査を行えるよう、測定方法についてのテキストを作成しました。2月中には印刷が完了する予定です。ご希望の方に配布したいと思いますので、よろしく願いいたします。

(7) 「多摩の物語」の語り会 (3/4 羽村市生涯学習センターゆとろぎ・小ホール～語り部・平野啓子副会長&お弟子さんによる語り) 【資料5】

- ・【資料5】をご覧ください。本件は、とうきゅう環境財団様からの助成により開催します。多摩川流域に伝わる物語発掘のための実地調査も計画どおりに終了し、3月4日に開催される「多摩の物語」の語り会での実演・発表に向け、準備を進めています。当日、“語り”を実演される語り部・平野啓子さんのお弟子さんの川井様より、一言お願いします。

(川井 様)

私たちは、前回の多摩川上流域に続き、中・下流域について活動しております。先ほどご説明がありました通り、3月4日にゆとろぎ・小ホールで中間発表会を行いますので、ぜひ足をお運びください。先週13日に、フォーラム事務局の及川さんをはじめ、発表関係者や技術スタッフが集まって打合せを行いました。まだまだ寒い中ではありますが、私たちの発表を聞いていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、当日は、議会でお忙しい羽村市長の並木様が、わざわざ会場にお越しいただき、ご来賓としてご挨拶をいただくだけでなく、お時間の許す限り発表をご覧くださいとのことです。

(8) 第7回・美しい多摩川フォトコンテスト作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ画展 (3/10～15：青梅市立美術館) 【資料6】

- ・【資料6】をご覧ください。チラシに記載の通りに開催いたします。青梅市様、青梅市教育委員会様のご後援で、青梅市立美術館で開催いたします。ぜひ足をお運びください。

(9) 第6回 “美しき桜心の物語” の語り会 (3/22 府中市・大國魂神社～語り部・平野啓子副会長) 【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。今春は3月22日に府中市にあります大國魂神社にて、府中市と大國魂神社のご後援のもと、平野副会長による「桜の語り会」が開催されます。2月2日から申込みを受け付けたところ、初日で定員100名に達したため、大國魂神社さんにご相談の上、急遽200名まで枠を増やしましたが、1週間で一杯になってしまいました。現在はキャンセル待ちを受け付けております。本件につきまして、平野副会長より一言申し上げます。

(平野副会長)

事務局はじめ皆様のお陰で、多くの方にお申込みをいただきました。無料の会ですと、突然当日キャンセルされることもありますので、席がガラガラにならないように気をつけたいと思います。また、細野部会長や府中市長の高野様、大國魂神社の宮司さんもお参加いただけるそうで、有り難うございます。当日は、瀬戸内寂聴さんの「しだれ桜」のほか、現在作品を選んでいる最中です。よろしく願いいたします。

(10) 第4回・桜守学校開催 (3/27) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。今春も第4回桜守学校を都立小金井公園で開催します。3月1日に、後援の小金井市様のご協力により、小金井市報、フォーラムのホームページに実施内容を掲載し、募集案内を開始する予定です。

～平成27年度の予定～

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

- ①4/2：羽村取水堰と玉川上水～福生多摩川堤防、美しい多摩川フォーラム、羽村市、リビング多摩、大谷桜守
 - ②4/7：高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園、美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守
- ・ ①、②のコースともに、ご共催をいただくりビング多摩の押切様に一言申し上げます。

(押切様)

私は、この多摩川夢の桜街道のツアーを担当して、今回で3回目になります。初めてコースを歩いた時、「こんなに美しい桜の景色があったのか」と感動しました。桜守の大谷さんと一緒に、桜の美しさと桜を守る大切さを伝えていきたいと

思っています。今年は、まだ計画段階ではありますが、羽村取水堰と玉川上水、田村酒造さんを巡るコースと、多摩森林科学園を巡るコースの2つを考えております。告知は、3月14日付のリビング多摩で紹介する予定です。電話受付ですが、いつもすぐに一杯になってしまいます。もし参加したい方がいらっしゃいましたら、今日言っていただければ私の方で調整しますので、ご連絡ください。

(事務局)

有り難うございました。続いて、実際にコースを下見された大谷桜守に一言お願いします。

(大谷桜守)

いま、押切さんから「こんなに美しい桜の景色があったのか」という話がありましたが、私が毎回心掛けているのは、ただ桜を愛でるだけではなく、歴史的な桜に出会うため、五感を使って桜を楽しむことを考えています。今年もより素敵な桜に出会うために、これらのコースを歩きたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。

(2) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料9】

①5/1：第4回“美しき桜心の物語”の語り会（八十八番・弘前公園、弘前文化センター・ホール、語り部・平野啓子副会長）

- ・【資料9】をご覧ください。今年は、青森県弘前市において、第4回目の“美しき桜心の物語”の語り会を開催いたします。本件につきまして、平野副会長より一言お願いします。

(平野副会長)

いま東北を訪れても、前と変わりなく、仮設住宅がずっと残っています。変わったことと言えば、住んでいる方たちが仮設住宅の暮らしに慣れたことくらいではないでしょうか。関東に暮らしていると、そのことを忘れがちですが、東北の方々と心の歩みを一緒にすることの大切さをもう一度思い出し、応援に繋げていきたいと思えます。弘前は遠いので、泊りがけになってしまいますが、ぜひ現地にお越しください。

(細野部会長)

以上で、事務局からの経過報告および当面の予定について、説明がありました。ここまで、ご質問等ございますか。ないようでしたら、意見交換に進みます。

5. 意見交換（部会長）

（細野部会長）

はじめに事務局の方から説明してください。

（1）平成27年度事業計画骨子・同予算について【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。これは、1月29日の運営委員会でご承認いただいた資料になります。簡単にご説明させていただきますと、まず、会費収入は、平成26年度着地見通しと同様、2,100,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、委託金として青梅市様より264,400円、助成金としてとうきゅう環境財団様より228,000円、前期繰越金が1,604,470円を見込んでおり、合計が12,196,870円となります。一方、支出の部ですが、平成26年度事務雑費等の中に見込んでいた印刷費を分離し、印刷費等396,000円、事務雑費等200,000円を計上しております。
- ・ 次ページの「平成27年度事業計画骨子（事務方素案）の主な実施内容について」をご覧ください。基本的には継続事業が中心です。新規事業として、経済軸に③御岳・冬物語とありますが、これは、冬の御岳山で「多摩の物語」の語りを実演する企画で、来年度トライアル事業として実施する方向で検討しておりましたが、このほど、本年12月については、平野副会長の日程確保が難しいことが判明しましたので、次の意見交換の場で、皆さまからお知恵を頂戴し、次回3月24日の運営委員会までに企画を見直し、修正したいと存じます。⑤シーカヤック体験教室ですが、大田観光連盟では、大田区カヌー協会と連携して毎年開催しているもので、フォーラムの後援名義の提供とPR等の協力をさせていただくというものです。
- ・ また、JR東日本八王子支社様等と連携して毎年実施してきた「駅からハイキング」については、JR東日本様が、これまで多くのお客さまを集める単発のイベントとして実施してきましたが、今後は、ある一定期間を設けてイベントを実施する期間設定型に移行するというJRの方針を受け、大変残念ではありますが中止せざるを得ない状況となりました。一方、JR東日本様は、『「多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り」を観光ルートとして、積極的にPRしていく』とのことですので、これまで以上に連携を強化していくことになりました。
- ・ なお、これまで毎年開催してきた「美しい多摩川フォトコンテスト」につきましては、ここ数年、応募者のうち大半をリピーターが占める傾向が顕著になり、作品も過去の入賞写真を真似たものが目立つことから、事業の継続実施について様々検討したところ、賞金を提供するコンテストとしての役割は果たしたとの結論に達し、今春で終了することと致しました。今後は昨年からスタートし

た美しい多摩川フォト教室を充実させていくことと致しました。

- ・ 次ページの「平成26年度事業予算執行実績（12月末現在）」をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入については、300,000円下振れする見通しとなりました。これは、フォーラム会員であるJT（日本たばこ産業株式会社）様が国内業務の大幅スリム化の一環として、今春、立川支店を閉鎖するのに伴いフォーラムを退会するため、大口の会費収入が見込めなくなったことによるものです。寄付金Ⅲの707,778円ですが、東急百貨店のココエコチャリティーイベントの寄付金になります。寄付金Ⅳの198,425円ですが、たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALKを通じて寄せられた大田区民有志の皆さんからの寄付金になります。
- ・ 一方、支出の部ですが、事務雑費は200,000円の上振れとなりました。主な要因ですが、多摩川フォーラム専用のインクジェットのプリンターが故障したことに伴い、昨年7月にキャノンの複合機をリースで導入、今年3月までの資料等印刷費254,181円を見込んだことによるものです。次に、多摩川酒蔵街道事業は、363,200円の上振れとなりましたが、これは、「多摩川酒蔵街道ワーキング・グループ」の連携先の皆さんのご協力によりまして、当初考えていたものより格段に素晴らしいスキームが出来上がったことに伴い、チラシも効果的な両面カラー印刷にしたほか、昨年11月の前回運営委員会において承認された「酒蔵街道」の商標登録申請費用として216,200円を急遽計上したことにより上振れしたのですが、下の方にあるパンフレット等制作費300,000円を組替充当しております。なお、桜の植樹費用についても、前回の運営委員会で新たに承認されたものです。その結果、次期繰越金見込額は、1,604,470円となります。
- ・ 次ページの「美しい多摩川フォーラム・平成26年度活動報告と今後の予定」ですが、今年度も、年度末には年間を通じて、50を超える事業活動を実施することになります。後ほど、じっくりとご覧ください。ご説明は以上です。先ほど、JT様の件についてご説明させていただきましたが、本日はJT立川支店業務部社会環境推進担当課長の住谷様にご出席いただいておりますので、よろしく申し上げます。

（JT立川支店 業務部 社会環境推進担当課長 住谷 様）

住谷と申します。当社として、今年の4月1日から、全国25→15支社体制にスリム化されます。立川支店についても、東京支店に統合され、東京支社になります。本会に参加させていただき、色々なことを勉強させていただきました。心から感謝を申し上げます。今後とも、当社へのご高配をよろしくお願い申し上げます。有り難うございました。

(細野部会長)

J Tさんには大変お世話になりました。それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。なお、第1号議案は、最終的には、総会提出議案を審議する3月24日開催の第3回運営委員会にて、最終決定されますことをお含みおきください。ないようでしたら、「御岳・冬物語」の実施内容について、事務局よりご説明をお願いします。

(2) 「御岳・冬物語」の実施内容について

(事務局)

- ・ 当初、多摩の物語の実演を考えていたのですが、先ほどご説明したとおり、上演が困難な状況にあることから、前回の運営委員会でも活発な意見交換をしていただきました。例えば、「冬の御岳山は、横浜のベイブリッジが見えるほど夜景がきれい、夜にはムササビを見に行った」、「星がとてもきれいなので、星座のガイドさんの話を聞きながら星を観察してはどうか」など、冬の御岳山でしかできない夜の贅沢な過ごし方を“売り”にしたら良い、といった提案が多数ありました。「御岳・冬物語」のコンテンツについてご意見等がありましたら、是非よろしくをお願いします。

(細野部会長)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がございましたら、お願いします。

(クラブツーリズム 梶田 様)

冬の澄んだ空気の中、何が出来るかを考える必要があると思います。我々が、冬の寒いところでやっているツアーは、例えばオーロラツアーだったり、会津の城に映像をあてるバーチャルツアーだったりがあります。昨年11月23日に、**カブラ**が咲いている時期だったと思いますが、とても素晴らしく、それと組み合わせても良いと思います。御岳には宿坊がありますので、夜の語りと朝の日の出を組み合わせたら面白いものが出るのではないかと思います。

(澤田アドバイザー)

私は最近、秩父あしがくぼの氷柱祭りに行ってきました。氷をメインにやるのもアイデアかなと思います。御岳山には、氷の花「霜柱」があります。その他、麦きりなどの江戸の食文化を紹介しながら一杯やっていただくのも良いのではないのでしょうか。私自身が麦きりを打てます。星空も綺麗です。また、御岳で「芸者ナイト」を企画・開催しました。予算の関係で厳しいかもしれませんが。

(近畿日本ツーリスト 立川支店長 平沼 様)

澤田さんのご意見とかぶってしまうのですが、「日帰り」「冬ならでは」を考えた時、冬しか食べられないものを打ち出して、遠方からも来てもらえるような素材の提供が必要ではないかと思います。

(細野部会長)

いくつかアイデアが出ましたので、事務局の方でフィージビリティまで考えて、アイデアを練ってもらいたいと思います。

それでは最後に、「多摩の近未来を考える」について、中央大学学会東京大田区支部の副支部長を務められている藤井政男様よりご説明をお願いします。

(藤井 様)

多摩に関する話はネガティブな内容が多いのですが、私が話す内容は、極めて明るいです。簡単に言えば、「多摩地区の未来は明るい」です。それを主体に話を進めていきたいと思います。

まずは多摩の現在についてお話します。平成26年11月11日付の読売新聞に衝撃的な記事が載っていました。熊本県出身の中央大学3年生は、多摩地域のことを「寝に帰るところ」で、「無機質なベッドタウンが延々と広がっている」と想像していました。しかし、八王子市の中央大学に入学し、ゼミ活動の一環でケーブルテレビの地域情報番組の制作に携わるようになってイメージが変わり、「ひとくりにできない多彩な魅力がある」と知ったそうです。記事によれば、「多摩地域は、400万人という大きな県に匹敵する人口を抱えながら、県庁や県警本部等の中核的組織を自前で持たず、その分、文化や市民運動などの分野で、個人や民間グループが市町村や都県の枠を超えて自発的に連携・活動してきた」とのことです。そのことに対し、一橋大学準教授の石居さんは、「上憲下達でなく、個人やグループが自立しながら繋がるネットワーク型の地域性こそ多摩の特色でしょう」とおっしゃっています。なるほどと思いますが、場合によっては、上憲下達が必要です。これについては、最後にお話します。

続いて、多摩の過去についてです。平成24年8月30日付の読売新聞夕刊に、東京芸術大学教授で「大岡越前」などの時代考証でも活躍する大石学さんの記事が載っていました。一部を読みます。『木々の影が水面に深く落ちる玉川上水。「大岡越前との出会いも武蔵野だったんです。」学生時代、武蔵野の旧家に古文書を訪ね歩き、その中で多く出会ったのが、大岡越前守忠相が関連する文書だった。時代劇の「大岡裁き」は後世のフィクションで、実際は徳川吉宗による享保の改革を現場で支えた有能な実務者だった。幕府の農政官僚として武蔵野の新田開発にあたり、約80の村を開いた。この頃に開発された武蔵野が、江戸市中と一体で機能し、人口100万人とい

われる大都市を支えた。「23区から多摩までを含む今の東京都の出発点は江戸時代。大岡こそが都知事の原点。」と言い切る。最近は、2020年の東京五輪・パラリンピックが、都心だけのイベントのように語られるのが気がかりだという。「湾岸のコンパクト性を強調しすぎず、江戸以来の都心と武蔵野の交流・発展の延長上に五輪を位置づけなければ文化イベントとして不十分」と訴える。』とあります。これは、去年、IOC委員会が述べた内容と全く同じです。「これからは、主催都市だけでなく、他の都市との連携を考えても良い。近隣諸国との連携をも考えたオリンピックでも良い。」とのことです。IOCも考え方が変わってきていますので、オリンピックのあり方も変わってくるのではないのでしょうか。

最後に多摩の未来の話です。「鉄道・モノレール等の整備計画」をご覧ください。多摩地区においても、全長23キロの計画がありますが、実際は、上北台から多摩センターまでの16キロしか開通していません。多摩地区の方は、東京都や国にどんどん働きかけなければなりません。横田基地がありますが、いずれは日本に返還されるかもしれません。そうすると、多摩地区に飛行場ができます。次に橋本駅に注目して下さい。神奈川県の新宿駅ですが、ほぼ多摩地区と接しています。次のページに「リニア中央新幹線概要図」がありますが、これは20年前の計画です。リニア新幹線の始発駅は品川、次の停車駅は橋本に決まりました。平成26年10月1日付の日経新聞朝刊記事によると、「2027年には開業予定で、東京-名古屋間を40分で結ぶ。都市間移動の在り方を一変させる可能性をも秘める。」とあります。また、「橋本駅周辺の未来像は、オフィスビルやシティホテルが林立し、コンベンション施設にはビジネスマンが行き交う。相模原市への経済波及効果は年2244億円。1万人程度の雇用効果も見込む。」とあります。橋本駅からは、横浜線で八王子へ、また京王線で多摩センター→多摩モノレール→立川へも接続可能です。多摩地区の移動も一変させるかもしれません。リニア新幹線は、今年の秋から着工します。建設費は総額で9兆円を超えるそうです。日本の国家予算の10分の1を使う大プロジェクトです。このプロジェクトは話題性もあり、国外からも多くの人を訪れることになるでしょう。新橋本駅ができることによって、多摩地区の人たちも、東京へ行かずに橋本駅から大阪に行くことができます。30年後には実現可能です。こういうプロジェクトがきっちり行われていけば、多摩の近未来は極めて明るいと言えます。当フォーラムの役割も、より大きなものになっていくものと思われれます。

(細野部会長)

非常に夢のある話を有り難うございました。

6. 総括・閉会（部会長）

（平野部会長）

本日も色々なご意見をいただき、有り難うございました。藤井さんからは力強い励ましの言葉もいただきました。街は、発展すればするほど「ALL新宿駅」や「ALL東京駅」のようになってしまいますが、そのようにはならないように、昔ながらの良さをどこかに残しながら発展していければ良いと思います。そういった意味では、今の段階で未来像を教えていただいて良かったと思っています。総合的に、皆さんと力を合わせてやっていければと思いますので、よろしく願いいたします。

（渡邊部会長）

平成26年度の事業は50本ほどありますが、全て終わっております。また27年度も色々な事業がありますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

（細野部会長）

平成26年度・第2回三部会合同部会でしたが、最後はとても夢のある話題となりました。現在、「地方創生」という言葉が聞かれますが、本当の地方分権を進めなければなりません。それぞれの地域が、地域資源を持ち寄り、発展していければ良いと思っています。私たちの多摩川フォーラムも、「地域の創造」ということを考え、産官学で進めていきたいと思っていますので、日本のひとつのモデルケースとして皆様に示していけるよう、どうぞお力をお貸しいただきたく、よろしく願いいたします。では時間ですので、終了します。有り難うございました。

以 上